



INDEX

P1ー代表挨拶

後援行事AIDS文化
フォーラムが開催

P2、3ー第7回活動交流ミーティングを開催

活動交流サロン京都温泉ゆめの湯を開催
平成23年度ゆめ企画コンテストについて

P4ーゆめっと京都加盟団体を訪ねて①

ポジティブアースネイチャーズスクール

希望の年

京都青少年ゆめネットワーク代表 神崎清一

私の学生時代、つまり30数年前に好きだった吉田拓郎の作詞作曲でデビュー曲の「イメージの詩」という曲があります。

最初の詞は「これこそはと信じれるものがこの世にあるだろうか。信じれるものがあっても信じないそぶり・・・」で始まります。そして、さびに当たる箇所では、「古い船には新しい水夫が乗り込んで行かだろ。古い水夫を今動かせるのは古い水夫じゃないだろ。なぜなら古い水夫も新しい船のように新しい海へでる。古い水夫は知っているのさ、新しい海の怖さを・・・」

2011年には想定外(?)といわれる天災に加えて、起こってはいけない人災といってもよい原子力発電所のこれまでの施策と管理、そして私たち自身の知識や無関心さが問われました。また、私たち自身の生き方を大きく変えることが必要であることが声高に語られるようになってきました。

これまで私たちは、それぞれの団体やグループとして、更には個人として生き方を見直し、TO HAVE から TO BE へ、より良く生きることを提唱してきましたが、今まさにこのことが問われているのではないのでしょうか。

様々な事象に対して、少しずつ取り繕う形で改善をしてきた「システムや器」が機能しなくなり、そのもの「自体」も「ハンドリングする人財」も経年劣化をきたして来ているのにもかかわらず、気づかないか先送りや放置されていることが多くあるのではないのでしょうか。

「2012年は希望の年」となるように、そのためには、私たちのできることを確実に実行し、新しい海に出ることが可能なようにしなければと思いを馳せ、何度もこの曲を聞き直していました。一度皆さんも是非。そして夢と希望の年へと繋げましょう。

ゆめっと京都後援事業 「AIDS文化フォーラム in 京都」開催報告

さる10月1日(土)・2日(日)、龍谷大学大宮学舎 東翼(とうこう)にて全国各地でHIV/AIDSに取り組む団体・個人の発表・交流の場として、また、多くの府民、特に若者に向けた啓発の場としてAIDS文化フォーラム in 京都が開催されました。

